

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-81495

⑤ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和63年(1988)5月28日

H 04 R 17/00

F-6824-5D

M-6824-5D

審査請求 未請求 (全2頁)

⑯ 考案の名称 圧電スピーカー

⑰ 実 願 昭61-173497

⑱ 出 願 昭61(1986)11月12日

⑲ 考 案 者 黒 山 浩 信 鹿児島県国分市山下町1番1号 京セラ株式会社鹿児島国分工場内

⑲ 考 案 者 村 田 幹 夫 鹿児島県国分市山下町1番1号 京セラ株式会社鹿児島国分工場内

⑲ 出 願 人 京セラ株式会社 京都府京都市山科区東野北井ノ上町5番地の22

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) 内部に凹部を有する容器に、圧電振動子が取着された振動板を、該圧電振動子が容器の凹部に収納されるように取付けて成る圧電スピーカーにおいて、前記圧電振動子を制動板を介して振動板に取着したことを特徴とする圧電スピーカー。

(2) 前記制動板の面積が振動板の面積の10乃至75%であることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項に記載の圧電スピーカー。

(3) 前記制動板の厚みが0.05乃至0.5mmであ

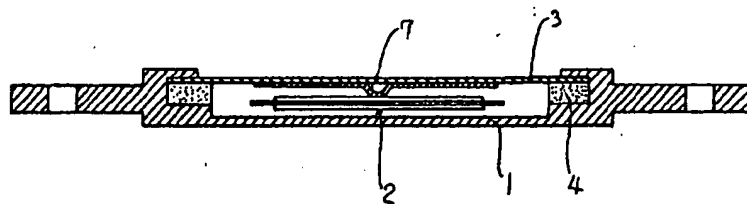
ることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項に記載の圧電スピーカー。

図面の簡単な説明

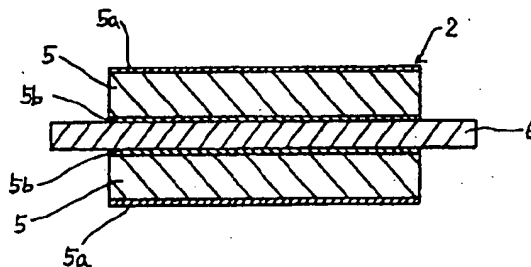
第1図は本考案の圧電スピーカーの一実施例を示す断面図、第2図は第1図の圧電スピーカーに使用される圧電振動子の拡大断面図、第3図は従来の圧電スピーカーの断面図、第4図は本考案及び従来の圧電スピーカーの音圧レベルを示す特性図である。

1: 容器、2: 圧電振動子、3: 振動板、7: 制動板。

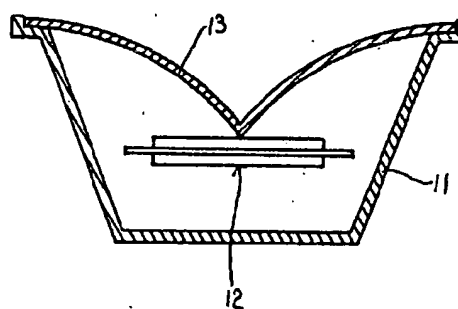
第1図



第2図



第3図



第4図

